

R6.1月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
1月10日	1月16日	7日	尿路感染症	体温39.1℃ 検尿 亜硝酸(+) インフルエンザ抗原キット(陰性) コロナウイルス抗原キット(陰性) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤7日間投与 ノルフロキサシン(100)3T 3×1 アセトアミノフェン 0.4g 頓用 経過観察へ
1月15日	1月24日	10日	尿路感染症	KT39.5℃ 自覚症状なし 解熱剤アセトアミノフェン0.4投与 尿検査 蛋白(+)他(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤4日間投与 ノルフロキサシン(100)3T3×1 解熱せず内服変更7日間投与
1月17日	1月20日	4日	左下腿蜂窩 織炎	1/6頃から左下腿後面に内出血認める1/13同部位の皮膚剥離、出血あり 1/17同部位黒化し周囲に発赤と痛みあり。Dr診察 蜂窩織炎の診断 抗生剤4日間投与 ピクシリンS(250)3T 3×1 経過観察へ
1月17日	1月20日	4日	尿路感染症	KT38.6℃ 鼻汁、鼻声 尿検査 亜硝酸(+) 蛋白(+)糖(2+) 白血球(+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤4日間投与 ノルフロキサシン(100)3T3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
1月27日	1月30日	4日	尿路感染症	KT37.6℃ 咳嗽、痰がらみあり 尿検査 亜硝酸(-) 蛋白(+)糖(-) 白血球(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤4日間投与 ノルフロキサシン(100)3T3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
1月29日	1月31日	3日	尿路感染症	排尿時痛あり 検尿：亜硝酸(+)蛋白(+)白血球(-) 潜血(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/3×1 経過観察へ
1月29日	1月31日	3日	尿路感染症	KT39.6℃ 悪寒あり 検尿：亜硝酸(+)蛋白(+)白血球(-) 潜血(-)糖(+) Dr診察 尿路感染症の診断 抗生剤3日間投与 ピクシリン(250)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
1月29日	1月31日	3日	尿路感染症	KT38.5℃ 悪寒あり 検尿：亜硝酸(+)蛋白(+)白血球(+) 潜血(-)糖(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
1月30日	1月31日	2日	尿路感染症	KT39.3℃ 食物残渣物の嘔吐あり 検尿：亜硝酸(-) 蛋白(-)白血球(-) 潜血(-)糖(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤2日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ

2月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
2月1日	2月10日	10日	尿路感染症	尿混濁、白色浮遊物多量にあり。 Dr診察 尿路感染症の診断 漢方薬2/1～当面継続処方 猪苓湯エキス顆粒7.5g3×1 (食前) 尿混濁やや改善。 継続投与にて経過観察へ (永続的にバルネテール管理必要)
2月1日	2月7日	7日	尿路感染症	KT38, 1℃ 悪寒あり 検尿: 亜硝酸(+)蛋白(+)白血球(+) 潜血(-) 糖(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤7日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
2月3日	2月5日	3日	尿路感染症	KT37, 6℃ 痰がら(+) 吸痰処置施行 検尿: 亜硝酸(+)蛋白(+)白血球(+) 潜血(-) 糖(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 RP)ノルフロキサシン(100)3T/3×1 レバミピド(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
2月12日	2月15日	4日	尿路感染症	排尿時痛訴えあり 検尿: 亜硝酸(-)蛋白(+)白血球(+) 潜血(+) 糖(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤4日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/3×1
2月10日	2月12日	3日	尿路感染症	KT38, 1℃ 食物残渣物嘔吐 検尿: 亜硝酸(+)蛋白(+)白血球(+) 潜血(+) 糖(-) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤3日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ

3月

治療開始日	治療終了日	期間	所定疾患 傷病名	処置等の内容
3月21日	3月27日	7日	急性肺炎	体温38.2℃ 咳嗽あり 検尿施行 亜硝酸(+)尿蛋白(2+) 尿潜血(-) 白血球(+) Dr診察・聴診 クラジマイン(200)2錠 2×1 カルボシステイン3錠 レスブレン(20)3錠 3×1 7日間投与 頓用アセトアミノフェン0.4g 経過観察へ
3月7日	3月11日	5日	尿路感染症	体温38.9℃ 検尿施行 亜硝酸(+)尿蛋白(+) 尿潜血(-) 白血球(-) Dr診察・聴診 ピクシリンS配合錠 3錠 3×1 5日間投与 頓用アセトアミノフェン0.4g 経過観察へ
3月28日	3月31日	4日	肺炎	体温38.5℃ 咳嗽あり 胸部X-P Dr診察: 右中肺野肺炎像所見 Dr診察・聴診 クラジマイン(200)2錠 2×1 カルボシステイン3錠 レスブレン(20)3錠 3×1 4日間投与 頓用アセトアミノフェン0.4g 経過観察へ
3月9日	3月14日	6日	尿路感染症	KT39, 7℃ 悪寒あり 検尿: 亜硝酸(-)蛋白(±)白血球(+) 潜血(±) 糖(±) Dr診察 尿路感染症の診断 抗菌剤6日間投与 ノルフロキサシン(100)3T/3×1 2T ピクシリンS(250)3T/3×1 4T 熱発時アセトアミノフェン0.4g頓用 経過観察へ
3月12日	3月19日	8日	蜂窩織炎	KT38, 5℃ 右臀部～右大腿部発赤、熱感あり 検尿: 亜硝酸(-)蛋白(+)白血球(+) 潜血(+) Dr診察: 蜂窩織炎の診断。 抗菌剤3日間投与 ピクシリンS(250)3T/3×1 熱発時アセトアミノフェン0.4g 頓用 経過観察へ